

緊急時における人間の行動シミュレーション

教授 Igor Lubashevsky



[概要]

この研究の目的は緊急時の人間の行動をシミュレーションすることです。行動を、その前段階の状況認知と、解決策の発見とに分割し、これらを定量的に把握することを試みます。これは、従来は仮想の訓練によってのみ成されていましたが、人と計算機の複合型シミュレーションによって実際の緊急時の状況をリアルに再現し、人間の行動特性をより明確に把握することが可能となります。まずは、認知・行動を把握するために車の運転について手法を検証し、次に災害時の行動などの緊急時の意思決定プロセス解明への応用可能性を検討します。

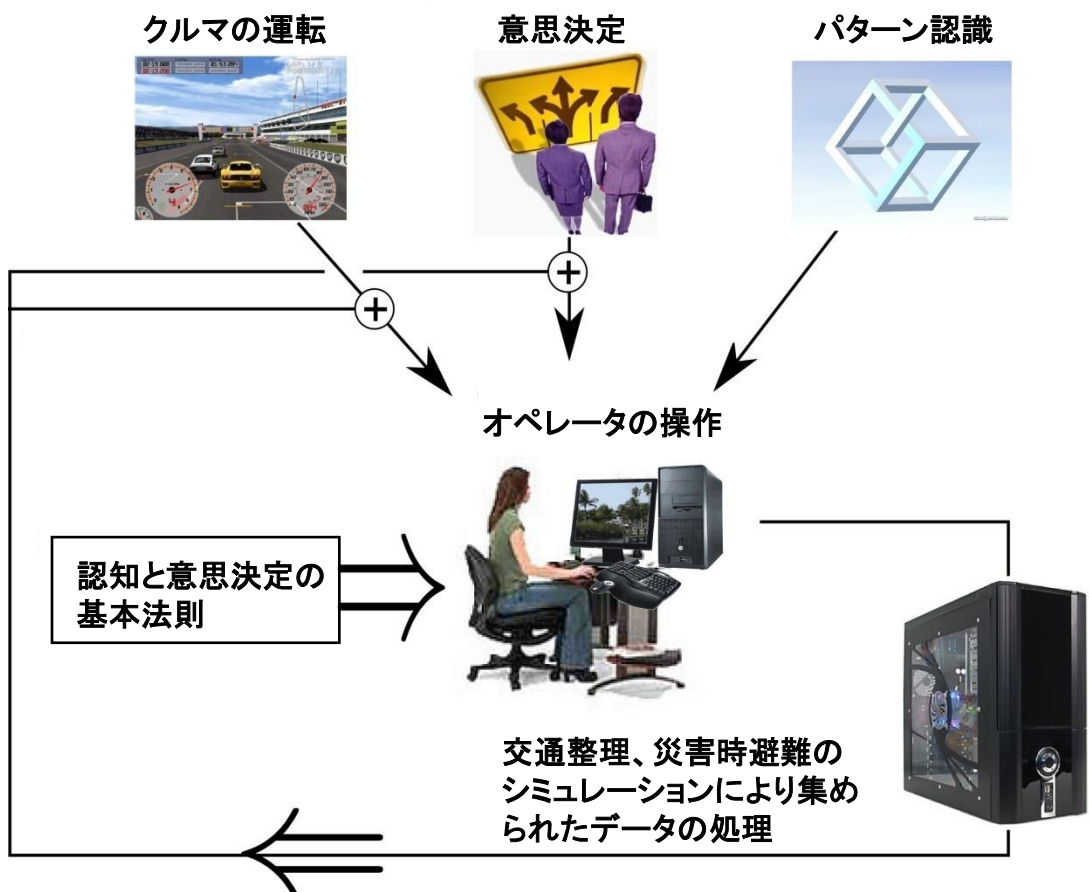
[実用化の可能性]

教育的見地から見ると、人と計算機の複合シミュレーションは、計算機に偏りがちな学生に人の意思決定の大切さを教えることが出来るので、より広い視野を持ったエンジニアを育てることが出来ます。

[UBICからのメッセージ]

災害が起きた時に人間がどのように行動するかをこの方法でシミュレーションし、この結果を訓練時の、さらに非常時の避難誘導に活かすことにより犠牲者を1人でも減らせれば素晴らしいことです。

[研究概要図]



人と計算機の複合シミュレーション